

事業番号	10 04 04	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	信州の森林づくりを推進するための事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課	
		実施期間	S41 ~	E-mail	shinrin @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・本県の民有林人工林の約8割が50年生を超えており、森林の若返りを図ることが必要。また、近年、各地で土砂災害や流木被害等が頻発している。
- ・このため、計画的な主伐・再造林の推進及び防災・減災のための森林整備等を推進していく必要がある。

2 事業目的

2050ゼロカーボンの実現に向け、森林がCO2吸収能力を発揮できるよう計画的な主伐・再造林や、森林の持つ多面的機能の維持・増進を図るための間伐等の森林整備を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

① 再造林の加速化

- ・計画的な主伐・再造林を推進するため、再造林とその後の下刈り等に必要な経費を支援
- ・【新】効率的な主伐・再造林を推進するため、架線を活用した取組等に係る経費の一部を支援
- ・再造林を推進するため、優良な苗木を生産



主伐後の
再造林地

② 防災・減災のための里山整備

- ・土砂災害や流木被害等を防止するための間伐等の里山整備に必要な経費の一部を支援



防災・減災
のための
里山整備

③ 県民が広く親しめる里山づくり

- ・広く県民が親しめる里山とするため、森林整備等に必要な経費の一部を支援
- ・緑化思想の普及啓発のため、森林環境教育を行う県民の森等の管理運営を行う



開かれた
里山整備

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度	R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移			
①	苗木生産量	万本	138	145	↗	145	→	180		令和6年度の造林に必要な苗木の生産量を目標値とする。
②	森林整備面積	ha	—	—	—	9,500	—	9,500		長野県森林づくり指針の令和6年度の民有林の森林整備面積の目標値とする。
③	森林・林業への理解の役立ち度 (アンケート)	%	100	91	↘	90	↘	90		戸隠森林植物園・森林学習館利用者アンケートを通じ、森林・林業への理解に役立ったと回答した人の割合を目標値とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	★民有林における造林面積	ha	2020 (R2)	282	2021 (R3)	277	2022 (R4)	318	2027 (R9)	1,000
3-1①	地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進	県民が広く親しめる里山の数(累計)	か所		—		—		—	2027 (R9)	50

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	予算案		3,575,634		3,575,634	1,093,327	20.3
	要求		3,575,486		3,575,486	1,093,327	
R5年度	1,391,652	3,529,936	△ 68,016	4,853,572	1,511,449		20.3
R4年度	1,528,462	4,299,357	△ 556,809	5,271,010	1,582,362	3,812,108	20.3
予算要求からの 主な変更点	戸隠森林植物園・森林学習館管理事業について、ふるさと信州寄付金の受入確定に伴う増額 地球温暖化防止吸収源対策推進事業について、事業内容の見直しによる減額						

事業番号	10 04 04	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	信州の森林づくりを推進するための事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課

細事業 No.	細事業名		R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
1	森林整備関係事業費		2,951,063 千円	2,168,355 千円	予算案 2,223,365 要求 2,223,365 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州の森林づくり事業	補助金	森林の有する県土の保全、水源のかん養等の多面的機能の維持・増進を図るため、計画的に実施する森林整備（間伐等）を支援する。 森林整備面積 6,728ha		
2	人工造林・初期保育の嵩上げ（信州の森林づくり事業のうち）	補助金	2050ゼロカーボンの実現及び持続的な林業を継続していくため、再造林とその後の下刈り等を支援する。 再造林面積 420ha		
3	みんなで支える里山整備事業	補助金	多くの県民等が広く利用できる里山を県内各地域に整備するとともに、防災・減災のために必要な里山の整備を支援する。 里山整備箇所 10箇所、防災・減災のための森林整備面積 400ha		
4	グレースの森創生事業	補助金	寄付金を活用して、山仕事に意欲のあるI・Uターン者等の多様な担い手の参加のもとで「記念林」となる森林整備を行う。 森林整備件数 1件		
5	林地残材有効活用推進支援事業	補助金	効率的な再造林を推進するため、主伐後の林地残材の搬出を支援する。 林地残材の活用量 3,000 t		
6	再造林省力化モデル推進事業	補助金	【新】効率的な再造林を推進するため、資材運搬の架線や自走式刈払い機等を支援する。 再造林面積 420ha		

細事業 No.	細事業名		R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
2	緑化推進事業費		3,971 千円	2,194 千円	予算案 1,607 要求 1,729 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林災害予防普及啓発事業	直接	森林火災の予防や森林保険加入促進のため、普及啓発物品の作成・配布及び林業業界誌に広告を掲載するなど広報活動を行う。 広報回数 1回		
2	SDGs森林の再生発信事業	直接	長野県が行うSDGsの取組をまとめたパンフレットを製作し植樹イベント参加者に普及啓発する。 国内外へ長野県のSDGsの取組をPR		
3	緑化推進事業費	直接 負担金	県内で行われる植樹活動に対する支援及び公益財団法人日本さくらの会の賛助会員会費を負担 開催地区数 4箇所		
4	地球温暖化防止吸収源対策推進事業	直接	民間企業等が「森林（もり）の里親促進事業」に基づき間伐等を実施した森林のCO2吸収量を県が評価・認証する。 森林CO2吸収評価認証量 3,000t-CO2/年		

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
3	県有施設管理関係事業費	12,733 千円	12,793 千円	予算案 12,318 要求 12,048 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県民の森管理事業	直接	県民と森林のふれあいの場の提供及び森林の多面的機能に対する理解促進のため、県内2箇所の県民の森を管理・運営する。 県民の森 2箇所	
2	戸隠森林植物園・森林学習館管理事業	直接 委託	森林レクリエーションや自然探索の場としての戸隠森林植物園・森林学習館の管理を行う。 植物園、森林学習館開館日 180日	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
4	林業公社事業費	1,317,491 千円	1,311,307 千円	予算案 1,319,325 要求 1,319,325 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	林業公社貸付金	貸付金	「経営改革プラン」に基づく経営計画促進のため、分収林事業の見直しを進め、必要な経費の一部の貸付を実施 林業公社が管理している森林の面積17,577ha	
2	森林整備合理化計画推進事業	補助金	「経営改革プラン」に基づく経営計画促進のため、公社が借り受ける有利子資金に対して国の規定に基づき、一定の利子助成を実施 林業公社が管理している森林の面積17,577ha	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
5	林業用優良苗木生産指導事業費	14,099 千円	35,287 千円	予算案 19,019 要求 19,019 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	林業用優良苗木生産指導事業	直接 委託 補助金	再造林の推進と併せて林業用優良苗木の安定生産・供給のため、優良な種子を確保するとともに苗木の生産基盤整備を支援する。 整備箇所数 4箇所	